

もう迷わない！

面積の単位

不動産で頻りに登場する面積の単位「畳」「㎡」「坪」。でも、異なる単位が混在すると、イマイチ分かりづらいかも……。混乱しないように、それぞれの広さを把握しておこう！

賃貸物件で使われる面積の単位を把握しよう！

それぞれの面積の関係は
一坪≒2畳≒約3.3㎡

しばしば物件の面積では異なる単位が登場しますが、一般的な使い分けとしては家屋や敷地の面積に「㎡」と「坪」、物件内部の各部屋に「畳」が使用されます。それぞれの関係は「1坪≒2畳≒約3.3㎡」ですが、注意したいのは「畳」と「㎡」です。

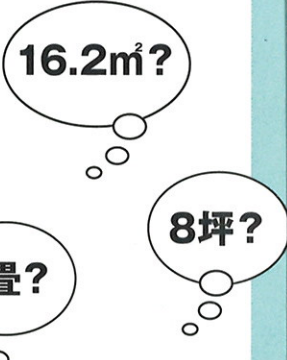
というのも、畳には複数の種類が存在し、それぞれ1畳あたりの面積が異なるからです。たとえば最も大きい「京間」の8畳分は約14.6㎡ですが、最も小さい「団地間」では10畳分で約14.5㎡。2畳分の差があるのに、実際の面積はほぼ同じなのです。

こうした混乱を防ぐため、首都圏不動産公正取引協議会では広告ルールに

面積早見表 (首都圏の目安)

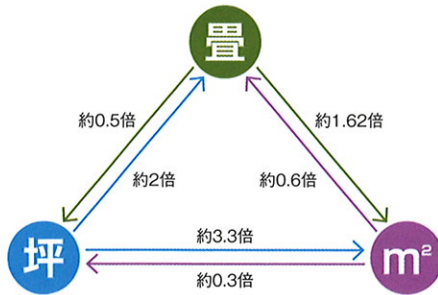
1畳	約0.5坪	約1.62㎡
2畳	約1坪	約3.3㎡
3畳	約1.5坪	約4.95㎡
4畳	約2坪	約6.6㎡
5畳	約2.5坪	約8.22㎡
6畳	約3坪	約9.9㎡
7畳	約3.5坪	約11.52㎡
8畳	約4坪	約13.2㎡
9畳	約4.5坪	約14.82㎡

「1畳≒1.62㎡」という定義を設けています。物件の総面積は㎡表記が主流なので、総面積を畳数で換算したい場合は「㎡×0.6」でおおよその広さを出すことができます。ただし、これらの数字はあくまで目安。やはり最終的には必ず内見し、自分の目で広さを体感するのが一番でしょう。



畳一枚分の面積単位

1畳=0.5坪=約1.62㎡



尺貫法による面積単位

1坪=約2畳=約3.3㎡

1メートル四方の面積単位

1㎡=約0.6畳=約0.3坪

単位がいっぱいあってややこしいから、目安を教えてください！



「S・L・D・K」の面積の定義はある？

Lはリビング、Kはキッチン、Dはダイニング、Sはサービスルームですが、実はそれぞれに明確な面積の定義はありません。あくまでも目安として、Kは2～4畳、DKは4～7畳、LDKは8畳以上です。なお、Sは建築基準法で「床面積の1/7以上の窓があるスペースを居室(部屋)とする」という決まりがあるため、面積の定義はありません。

	畳の種類	サイズ	主な使用地域
広	京間・本間	191cm×95.5cm	関西、中国、九州地方
中	六二間	188cm×94cm	九州地方の一部
	六一間	185cm×92.5cm	近畿、中国地方の一部
	中京間	182cm×91cm	愛知、岐阜、三重、福島、岩手、北陸地方の一部、奄美大島
狭	江戸間	176cm×88cm	関東地方を中心として全国各地
	団地間	170cm×85cm	公団住宅、集合住宅

1.824
1.767
1.711
1.656
1.548
1.440